

平成 22 年度 事業計画

社会福祉法人四天王寺福祉事業団

- 1、経営計画書の設計精度向上、計画実行精度向上、計画の推進・進捗管理
- 目的 良質なサービス設計と顧客満足、職員満足（働きがい）向上並びに経営安定化の為
- 要領 役割資格等級制度に定める役割と責任により経営計画立案を行い、計画・設計通りの実行並びに日々の実績データ管理を行う。改善には PDCA を回して積重ね業務能力開発とサービス提供能力向上を図る

経営計画書

① 管理面

- ・施設事業計画策定（ミッション・ビジョンを明記）
- ・利用者見込みと収入目標額の設定
- ・サービスの標準書の設計（時間・工程・価値（顧客満足）分析により設計）
- ・計画職員構成（効率性と良質なサービス提供がバランスしていること）の設計
- ・研修計画立案（サービス提供スキルと接客マナー向上を主眼に）

② 財務面

- ・変動損益予算書にて予算立案後、福社会計に転記（法令遵守）
- ・法人指定目標内部留保額を基に各予算科目設定
- ・月次予測設定と実績比較分析
- ・日々予算管理の実施
- ・四半期改善（補正）実施

2、経営リスクモデルの実施

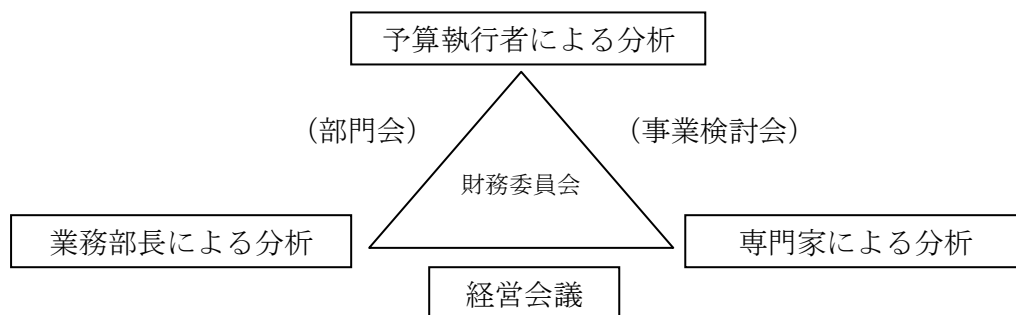
ミッション「経営リスクマネジメントは、宣言の具現化を目指す上で阻害するものを失くすために存在します」

- ・経営リスク部会は経営リスクモデルに基づき施設調査訪問を行い内外のルール遵守と啓発を行う
- ・リスクモデル開発のプロセスを経営に活かせる為、手法・文書等をスタンダード化しステップアップする
- ・経営リスク部会は訪問～調査～分析～反映の作業を行い、調査から客観的事実を積み上げ経営リスクモデルを向上させ、経営リスクの研究を行う
- ・訪問予定施設：大畑山苑、悲田院通園、さんめい苑、夕陽丘保育園、悲田院養護

3、事業検討会（経営状況の確認）

目的：牽制機能として専門家による経営状況の確認を行う

- ・経営（財務）リスクが生じている事業を対象に実施し現状把握、比較分析を行い経営改善に努める
- ・経営計画書の実施状況、立案性の確認、日々予算管理等から問題解決を行う
- ・財務委員会は誤記、計算間違いのない財務諸表、分析数値作成と日々予算管理実施のための現場支援を行う



4、 人事制度改正後の推進と進捗管理

目的：「宣言」の具現化、働き甲斐、遣り甲斐のある職場づくりのため

- ・ 人事評価システムの向上のために、法人・施設の人事評価確定会議開催を推進し公平公正な評価と評価者の評価スキル向上に努める
- ・ 施設において就業規則、人事管理制度基本要綱を周知し内部ルール遵守並びに役割と責任意識を高める仕組みを構築する
- ・ 評価者と被評価者との人財育成プロセスの証明と記録が DO-CAP シートに記され、その結果が人事評価であるが、普段から上司と部下が事業方針、事業目標、部署目標、個人目標に向かって取り組まなければ人財の育成は実現しないので人財育成のできる組織構築に貢献する
- ・ 人事プロジェクトは、上記の件並びに制度の推進・進捗管理を行う

5、 悲田院高齢者複合施設について

- ・ 建替えプロジェクトによる造成工事、建築工事の管理（平成 23 年 6 月完成予定）
- ・ 建替えを機に独自のサービス体系を構築しサービスデザイン会議を設置して行動分析から良質化に向けたサービスを創造していく

6、 法人研修体系

